

施策評価調書(4年度実績)

				施策コード		I-2-(1)		
政策体系	施策名	みんなで進める健康づくり運動の推進		所管部局名	福祉保健部		長期総合計画頁	29
	政策名	健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～		関係部局名	福祉保健部、教育庁			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	健康づくりのための県民運動の展開	健康を支える社会環境の整備	介護予防、自立支援・重度化防止の 取り組みの推進	データヘルスに基づく糖尿病性腎症など の生活習慣病対策の推進
取組No.	⑤			
取組項目	総合的な自殺対策の推進			

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i 健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)(歳)	男性	①	H22	69.85	72.58 (R1)	73.72 (R1)	101.6%	73.75 (R4)											
	女性	①	H22	73.19	75.88 (R1)	76.60 (R1)	100.9%	77.03 (R4)											

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	働く世代については、生活習慣病の発症・重症化予防等に加え、健康経営事業所を増やし事業所ぐるみで健康づくりに取り組んだこと、また、高齢者の介護予防に力を入れ、「通いの場」の参加者を増やす取り組みにより、高齢者の健康状態の改善につながり、目標値を達成した。なお、健康寿命は、国が3年に1度行う国民生活基礎調査に基づく指標であり、R4年度の目標値と実績値は直近のR1年度実績の数値を記載している。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体や保健医療福祉39団体で構成する「健康寿命日本一おおい創造会議」や、「健康寿命日本一おうえん企業」(116社)によって、県民総ぐるみでの健康づくりを推進した。 ・健康寿命延伸推進月間中に、健康づくりイベントを開催し、広く情報発信した。(イベント数1161・参加者数7.6万人)
②	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度からがん患者に対してウィッグ等の購入費用助成(R4年度311件)及び妊孕性温存治療費の助成(R4年度7件)を実施し、社会参加及び療養生活の支援につながった。 ・歯みがき指導・食に関する指導・フッ化物の活用を3本柱として、市町村格差のない継続的なむし歯予防に取り組み、児童・生徒の健康促進を図った。(フッ化物洗口全学年実施小・中学校360校(R3:359校))
③	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のセルフケア促進及び通いの場の活動継続に向けてフレイルチェックシートの普及を図った。また、コロナ禍においても高齢者が地域とのつながりを維持しながら介護予防活動を継続できるよう、オンラインを活用した活動・交流を支援した。 ・コロナ禍における生活不活発発病対策及び通いの場の感染対策に努めた。 ・ICTを活用したケアマネジャー向け業務支援システムを導入し、モデル12市町における自立支援型ケアマネジメントの質の向上につながった。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・県医師会、大学病院の専門医等で構成する効果検討会議において、各地域の支援体制構築に向けた取組評価、検討を行った。また、糖尿病性腎症重症化予防専門外来の運営支援を継続するとともに、各地域ごとの検討会等に助言者として専門医を派遣し、腎機能に着目した支援やかかりつけ医と専門医等の連携による個別支援を推進した。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業・団体等を対象にメンタルヘルス対策等出前講座を開催し、自殺予防施策の推進を図った(受講者数612人)。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	みんなで進める健康づくり事業	113.3	34
①	地域スポーツ活性化推進事業	103.4	348
②	がん対策推進事業	142.0	34
	スクールヘルスサポート事業	105.5	35
③	児童・生徒の歯と口の健康促進事業	99.7	293
	地域介護予防活動推進事業	81.7(R3)	35
④	自立支援型サービス推進事業	77.1	35
	糖尿病性腎症重症化予防推進事業	93.3(R3)	36
⑤	自殺予防対策強化事業	93.8	36

【VI. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命日本一おおい創造会議(R5.2) ・歩得の職場対抗戦に参加した法人から、職員にも健康づくりの最も身近な手段として認知されていると感じている、との意見が出た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命日本一おおい創造会議(R5.2) ・健康寿命について、既に全国で男性1位、女性が4位なので、それをいかに維持するかが大事だが、大分県は実際に頑張って結果が出ているのだからできるはず。
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営事業所に対し、理学療法士、作業療法士、公認心理士の専門職をアドバイザーとして派遣継続し、具体的な健康経営への取り組みを推進する。 ・コロナ禍においても高齢者が地域とのつながりを維持しながら介護予防活動を継続できるよう、オンラインを活用した活動・交流を支援する。 ・県内の腎症重症化予防ステーション機能強化として専門外来の運営支援を継続し、各地域において関係者の連携による腎症への早期介入を推進する。 ・「いのち支える大分県自殺対策計画」に基づき、子ども・若者や労働者・経営者対策等を実施し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。 ・地域の健康課題の解決に向けて、市町村主体の健康増進施策(健康を支える地域の基盤整備や健康づくりを担う人材、組織、団体の発掘・育成等)を支援する。